



# 北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3355 回例会・2021 年 12 月 15 日

## 本日のプログラム

### 「忘年家族夜間例会」

2021～2022年度国際ロータリーテーマ

## 『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』

R. I. 会長 シェカール・メータ

### 第 3354 回例会（12 月 8 日）の記録

**ロータリーソング** 我等の生業

**会長挨拶** 主藤会長

皆さんこんにちは。12月6日（月）にコロナの影響で延期になった新入会員オリエンテーションが中村情報委員長の元に開催させて頂きました。新入会員の皆様は本当に慌ただしかったと思いますが、お付き合い頂いてありがとうございます。いかに楽しむかという事を先日のオリエンテーションの中ではアドバイザーの松田副会長にお話を頂きましたけれども、大変ユーモアを交えた話を頂き、その後懇親の場を設ける事が出来まして、私も久しぶりに円卓を囲んだ和やかな雰囲気と有意義な時間を過ごさせて頂きました。師走の時期で大変お忙しいところかと思えますけれども、ご参集頂きまして誠にありがとうございます。改めて感謝を申し上げます。

今月12月は「疫病予防と治療月間」という事で、ロータリーの代表的な活動でありますポリオの根絶と謳われておりますが、現在猛威を振るう新型コロナウイルスについてロータリーも各国で対応されております。国際ロータリーからのリソースが届いている訳なのですが、紹介いたしますと、地域社会で新型コロナウイルス感染拡大を食い止める5つの方法という事で1つ目は、ワクチン接種の重要性を伝える活動。アフリカのナイジェリアで、これは少し前の話なのですが接種率が1%だということで、地元のRCがポリオワクチンの接種をされて、経験からその間に培った人脈を使って政治の指導者や医療従事者、またマスコミや宗教団体、マスメディアを駆使して接種を促す活動をされています。2つ目は、公平で平等なワクチン供給を推進するという事例です。これはガイアナのRCで、国内の特に遠隔地の医療従事者にポリオワクチンの推進を図りながらやった経験で僻地の医療格差を無くすという中で活動されたというようなお話が掲載されています。3つ目は、事実に基づく正確な情報を提供しワクチンへの不安を払拭する。これはシンガポールのRCで、接種率が順調に進む中で根拠のない噂が広まっているという事で、その噂を払拭するためにインターアクター、ローターアクター、そしてロータリアンと共にワークショップを開催しているという記事が載っていました。4つ目は、マスクの着用と衛生習慣の呼び掛け。ワクチン供給が滞っていたパキスタンでは、ロータリアンがマスクの着用や手指の消毒、手洗い等の感染予防策を呼び掛けるという活動をされています。5つ目は、保健機関によるワクチンの接種を支援されている。これはイタリアの第2060地区という事なのですが、ここでは政府の重要なパートナーとしてワクチン接種会場のボランティアを集めて、ワクチン接種に関する全てのボランティアがこの地区のロータリーが一任したというような活動がございます。これはロータリーの友やRCのホームページにも掲載されています。そういった事で、ポリオ以外にもこのコロナ禍の中で世界のロータリアンが活躍をされているという一端をご紹介させて頂きました。またオミクロン株が発生しているという事でまだまだ予断を許さない状況ですけれども、ロータリーの奉仕の精神が各国様々な場面で活かされていると感じております。そういった事では、ロータリーの活動というのは尊い活動をされているのだなという風に思いました。我々も色々お話を付ながらこの師走を乗り切っていきたいと思っております。本日もどうぞ宜しくお願い致します。

**幹事報告** 田巻幹事

1. ポール・ハリス・フェロー6回目という事で永田会員に記念バッジが来ております。
2. レターボックスに第5回理事役員会の議事録を入れております。

**委員会報告**

**青山社会奉仕委員長**

赤い羽根共同募金運動への依頼が来ておりますので、ご協力の方を宜しくお願い致します。

**中川親睦活動委員長**

来週は忘年夜間例会でございます。ご出席の皆様のお力を借りまして楽しいひと時に参りたいと思っておりますので、ご協力の程を宜しくお願い致します。



### プログラム 会員卓話 「ロータリー30年と人生雑感」

（株）宝工業 代表取締役社長 山崎 正 会員



私の生家は樺太（今のサハリン州）豊原市で玩具屋（いわゆるオモチャ屋）を営んでおりました。昭和28年8月15日、いよいよ日本も太平洋戦争の終戦を迎え、私はそうした戦後の混乱する最中に豊原市、今のユジノ・サハリンスク市で昭和22年1月5日に誕生致しました。私達家族が北海道に引き揚げて来たのは昭和22年7月の頃で、私も生まれただけで船中では体調を崩し母に大変面倒を掛けた事を後で聞かされました。また樺太から引き揚げる方々も大変な人数で、船もかなりの数が必要だったと思います。そうした引き揚げ中の混乱している時期に約700名余りを乗せた泰東丸を始め3隻の船がロシアの潜水艦の魚雷攻撃を受け留萌沖で撃沈された事件は、本当に犠牲になった方々を思うと許す事の出来ない重大な事件だったと思います。私達家族はそうした混乱する事態を無事に乗り切りまして、北海道へ渡り佐呂間町と札幌市で暮らす事になりました。今振り返りますと、その当時は殆どの家庭が生活に苦しみ、特に引揚者家族は厳しい環境下にありました。私はそうした時世の中で育ちましたが、無事に今日まで来られた事に感謝しています。

そうした幾多の試練も時と共に流れ、戦後の日本は素晴らしい経済発展と近代化が進み、私も21歳を迎えました。昭和43年、この年は私の人生の中で最も大切な年になりました。昭和43年3月24日、私はこの日に結婚式を挙げました。祝賀会はその当時に流行り始めた会費制で行う事となり、発起人は会社の同僚にお願いをして北見経済センターにおいて一人1,200円の会費で行う事が出来ました。ちなみにこの当時の私の月給は確か2万円程でしょうか。いずれに致しましても本当に物価も安く、貨幣価値の違う事に驚きます。

また、昭和43年7月7日は私がかねてより計画をしておりました念願の（株）宝工業を創業した記念すべき年でございます。営業内容は金属製建具とガラスの販売加工、社員2名と私と妻の4人で始まり、初年度の売上は半年位でしたが確か950万円程でしたでしょうか。私も若気の至りで本当に無理な仕事も受注致しました。しかし仕事には真摯に取り組み、目標に向かって突っ走った事を覚えています。また、この年の主な出来事と致しましては「日本が初めてGNP世界第2位になった年」「建設業界では日本初の超高層36階建の霞ヶ関ビルが完成した年」「12月に東京都府中市において3億円事件が起きた年」になります。以上の様にこの昭和43年という年は、私の人生において最も大切な二つの重要なスタートの年でございます。

さて、そうした人生の大きな節目の年から時が流れて21年が過ぎました。私も42歳を迎え、この年の1989年5月10日、平成元年の年に秋山会計事務所の先生のスポンサーで北見RCに入会致しました。入会当時の会長は（故）石崎亮二会員でした。例会場はパレスホテルの8階。クラブの会員数は93名と大所帯でした。私は親睦委員会に配属となり、その時に委員会で出会った方が北電北見支社・支社長の山根昭夫会員でした。彼とは委員会活動や趣味のゴルフを通じ、また家族同士の交流もありまして、札幌へ転動した後も彼とは縁が続き、今でも年に一度は札幌で食事やゴルフを楽しんでいます。最近では彼も少し歳を感じる様になりましたが、それでもお互いの人生を大いに謳歌しようといつも励ましあって帰って来ます。本当にロータリーは素晴らしい。人と人との出会いがあり、この様な繋がりが出来た事に私はいつも感謝をしているところでございます。私もRCへ入会をして今年で33年になりましたが、入会した当時のメンバーは殆どいなくなりました。また、先月は先輩の丹尾会員も退会をされて本当に寂しい限りでございます。

さて、ロータリーに入会をして在籍年数も重ね私も56歳になりました。この年は7月より会長を務める年でございますが、2月上旬に帯広の北斗病院においてPET検査を受けたところ、左腎臓に異常が見つかりまして再検査の通知が届きました。早々に紹介状を持って北見日赤病院と古屋病院で精密検査を受けたところ、両病院共に「恐らく悪性腫瘍ガンでしょう」と告知を受けた時は、私も流石に驚愕致しました。手術は早い方がいいと言われてましたが会長年度の準備の都合もあり、正直悩みましたが比較的私は冷静だったと思います。幹事とは今後の手術の打ち合わせやロータリーの各行事の打ち合わせ等、特に地区協議会への出席義務者の取りまとめや、またクラブ協議会を基軸とした緊密な打ち合わせを行いまして、手術はその隙間を縫って北見日赤病院においてガンの手術を受けましたが、お陰様で術後の経過も良く、無事2週間程で退院する事が出来ました。その後は幹事と共に全力を挙げて新年度の準備に取り掛かりまして、緊張をもつて新年度を迎えた事を今でも覚えております。

そしていよいよ2003-2004年度の平成15年7月1日から、私は北見RC第66代目の会長として無事スタートを致しました。この年の会長方針は「寛容の精神で善意の奉仕を」でございます。幹事は山腰測量事務所の山腰会員です。また期首の会員数は60名でございました。R1会長はジョナサン・マジアベ、テーマは「手を貸そう」でした。また第2500地区ガバナーは旭川RC（故）豊島弘通ガバナーです。地区テーマは「あなたはなぜロータリーに入ったか」でした。私の会長年度は様々な問題が山積しておりましたが、やはり一番思い出に残るのは、新春家族例会を元々伝統的に行っておりました親睦忘年家族例会に戻す件でした。この件は当初より重点的に取り組んでおりましたので、親睦委員長にはベテランの茂木会員を配属してその重要性を把握して頂き、検討の結果本当に素晴らしい斬新なプログラムや、理事役員会には寸劇の復活等もあり演題は「男はつらいよ」で決まりました。当日は舞台装置と寅さんに扮する仮想やメークも施し、何かと大変ではございましたが皆様方には大いに盛り上がりまして、本当に賑やかな親睦忘年家族例会になった事は今でも忘れられない良い思い出になりました。この様にこの年は大変な事が沢山ありましたが、その分良い思い出も沢山残せました。2003-2004年度の会長年度もこうして無事終了させて頂き、本当に感謝の1年でございます。



**出席報告** 帰山出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	12/8	60	8	45	4	2	-	47	83.929%

### 【次回12月22日】 「年次総会」

**編集後記** 山崎会員が辞世の句から寅さんの口上まで、あれだけ多くのものをスラスラとお話になり、途中で小気味よく手を叩く姿から、これまで深みのある人生の一端を感じる事が出来た様な気が致します。(Y.S)

2021～2022年度 北見R.C.活動方針

## 原点回帰・みらいへの継承

2021～2022年度 北見RC

●会長/主藤 雅裕

●幹事/田巻 順子

●週報編集/佐々木雄一

**ガバナー・ノミニーとは**

地区指名委員会手続により指名されたガバナー被指名者の事で、ガバナーに就任直前の2年以上3年以内に選出されるものです。